

**令和5(2023)年度 中山間地農業ルネッサンス事業  
棚田地域将来ビジョン策定業務委託 公募型プロポーザル実施要領**

**1 事業の趣旨・目的**

「残したい栃木の棚田 21」はふるさとの原風景の保全や棚田の有する多面的機能の維持保全を目的として平成13(2001)年度に認定されたものである。

一方、本県中山間地域は過疎化や高齢化による担い手不足により、農地の荒廃や集落機能の低下が進行しており、特に急勾配かつ狭小な棚田においてはその維持が困難になってきている。

そこで、本業務では棚田の現状や、棚田所有者等の棚田に係わる人たち<sup>※1</sup>（以下、棚田所有者等）の意向を把握・分析し、棚田地域の将来に向けた話し合いを行うことで「棚田地域将来ビジョン」（以下、「ビジョン<sup>※2</sup>」）を策定し、棚田の活用及び維持保全に向けた取組を促進することを目指すものである。

※1：棚田所有者、地域住民、棚田に係る関係人口等

※2：棚田所有者等の合意形成が図られたものであり、当該棚田の将来像およびその達成に必要な保全、活用に係る取組内容を示したもの。

**2 業務概要**

- |                      |  |
|----------------------|--|
| (1) 業 務 名            | 令和5(2023)年度中山間地農業ルネッサンス事業 棚田地域将来ビジョン策定業務   |
| (2) 業 務 内 容          | 別紙「令和5(2023)年度中山間地農業ルネッサンス事業 棚田地域将来ビジョン策定業務委託仕様書」（以下「仕様書」という。）のとおり   |
| (3) 契 約 期 間          | 契約締結の日から令和6年(2024)年3月19日(火)  |
| (4) 委託料上限額           | 4,040,960円（消費税及び地方消費税額を含む。）  |
| (5) 担当所属及び<br>問い合わせ先 | 〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20<br>栃木県農政部農村振興課農村・中山間地域担当 里づくりチーム<br>(栃木県庁本館11階)<br>電話 028-623-2334 FAX 028-623-2337<br>電子メール noson-sinko@pref.tochigi.lg.jp<br>受付時間：土日・祝祭日を除く午前9時から午後5時まで<br>(正午から午後1時までを除く) |

**3 参加資格**

次の要件を全て満たす民間企業、NPO法人（特定非営利活動促進法（平成10年法律第7号）第2条第2項にいう特定非営利活動法人）、その他法人または法人以外の団体等で、県からの委託事業を的確に遂行するに足りる能力を有するものとする。

- (1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4に規定する者に該当しないこと。
- (2) 栃木県競争入札参加資格者指名停止等措置要領（平成22年3月12日付け会計第129号）に基づく指名停止期間中でない者であること。
- (3) 民事再生法（平成11年法律第225号）の規定による再生手続開始の申し立て、会社更生法（平成14年法律第154号）の規定による更生手続開始の申し立てまたは、破産法（平成16年法律第75号）の規定による破産手続開始の申し立てが行われている者でないこと。
- (4) 栃木県暴力団排除条例（平成22年栃木県条例第30号）第2条第1号又は同条第4号の規定に該当する者でないこと。
- (5) 栃木県内に本店、支店又は営業所等を有する者であること。

## 4 プロポーザル実施の手続

### (1) 実施スケジュール

ア 実施要領等の公表	令和5(2023)年8月31日(木)
イ 実施内容等に関する質問受付期限	令和5(2023)年9月6日(水) 17時必着
ウ 質問に対する回答	令和5(2023)年9月11日(月)
エ 参加表明書等の提出期限	令和5(2023)年9月14日(木) 17時必着
オ 企画提案書等の提出期限	令和5(2023)年9月21日(木) 17時必着
カ プレゼンテーション	令和5(2023)年9月28日(木)
キ プロポーザル審査会	令和5(2023)年9月28日(木)
ク 選定結果の通知・公表	令和5(2023)年10月3日(火) まで

### (2) 実施要領等の配布

- ア 配布期間：令和5(2023)年8月31日(木)～令和5(2023)年9月14日(木)  
(土曜日、日曜日及び祝日を除く。午前9時から午後5時まで)
- イ 配布場所：栃木県ホームページ(入札・公売)からダウンロードできる。  
※URL(<http://ww.pref.tochigi.lg.jp/kensei/nyuusatsu/index.html>)

### (3) 質疑・回答

プロポーザル方式に参加するに当たり質問事項がある場合は、簡易なものを除き、質問書(別記様式1)により電子メール又はFAXにより提出すること。

- ア 受付期間：公募開始日～令和5(2023)年9月6日(水) 17時必着
- イ 質疑方法：電子メール又はFAXにより、2(5)に提出すること。  
※FAXの場合は、着信確認の電話連絡を行うこと。

- ウ 回答期日：令和5(2023)年9月11日(月)
- エ 回答方法：回答は栃木県ホームページ(4(2)イのURL)に掲載する。

### (4) 参加表明書等の提出

プロポーザルへの参加を希望する者は、参加表明書(別記様式2)、確認書(別記様式3)、会社等概要(別記様式4)及び統括責任者及び担当者について(別記様式5)を作成し、持参又は郵送により提出すること。

- ア 提出期限：令和5(2023)年9月14日(木) 17時必着  
※提出期限後に到着した応募書類は無効とする。
- イ 提出場所：2(5)
- ウ 提出方法：持参(平日の午前9時～午後5時まで)又は郵送(書留郵便に限る。)  
※郵送の場合は、到着確認のため電話連絡を行うこと。  
※なお、参加表明書の提出後に参加を辞退する場合は、令和5(2023)年9月21日(木) 17時までに辞退届(様式任意)を提出すること。

### (5) 企画提案書等の提出

参加表明書の提出後、仕様書及び以下のア～オに基づいて企画提案書を作成し、応募申請書(別記様式6)を添えて令和5(2023)年9月21日(木) 17時までに持参又は郵送により提出すること。  
※郵送の場合は、到着確認のため電話連絡を行うこと。

- ア 企画提案書の用紙は、原則としてA4版用紙を使用することとし、A3版用紙を使用する場合には、A4版サイズに折り込むこと。また、カラー印刷とすること。
- イ 企画提案書の様式は任意であるが、次の事項を含めて作成すること。なお、記載順序は任意とする。
  - (ア) 企画提案内容(目的、効果、訴求ポイント等)
  - (イ) 実施計画及び全体のスケジュール

- (ウ) 業務遂行人員体制
- (エ) 類似事業の業務実績
- (オ) 見積額

ウ 企画提案書は1者1提案とする。

エ 企画提案書の提出部数は、7部（正本1部、副本6部）とする。

なお、審査の公正を期すため、副本には参加者名を記入しないこと。

オ 提出の際に、栃木県知事宛ての見積書の正本1部を提出すること。

なお、見積書は必要な項目ごとに区別する（諸経費や消費税も区別する）とともに、企画提案書の見積額と整合させること。

#### (6) 企画提案書等提出書類の取扱い

ア 提出期限後は、提出書類の変更、差替、再提出若しくは撤回は認めない。

イ 提出書類は、理由の如何を問わず返却しない。

ウ 企画提案書は、栃木県情報公開条例（平成11年栃木県条例32号）に基づく公文書開示請求の対象となる。

エ 県は、必要に応じて、追加資料の提出を求めることができる。

オ 企画提案書等の作成及び提出に係る費用等、プロポーザル参加に要する経費はすべて参加者の負担とする。

カ 参加者は、企画提案書の提出をもって、実施要領等の記載内容に同意したものとみなす。

キ 企画提案書に使用する言語は日本語、使用する通貨は円とする。

ク 提出された企画提案書は、選考を行う作業に必要な範囲において、複製を行う場合がある。

ケ 企画提案書等の著作権は、提案者に帰属する。

コ 企画提案書等に含まれる著作権、特許権など日本国の法令に基づいて保護される第三者の権利の対象となっているものを使用した結果、生じた責任は提案者が負う。

## 5 審査方法等

### (1) 評価基準

別表「評価基準」のとおり

### (2) プレゼンテーションの実施

企画提案書及び見積書について、プレゼンテーションを実施する。時間、場所については、別途通知する。

なお、書類審査で足りると別途設置する選考委員会の長が判断した場合、プレゼンテーションを実施しない場合もある。

### (3) 審査方法

企画提案書、見積書、プレゼンテーションについて、評価基準に基づいて、プロポーザル選定委員の意見（採点等）を聴取し評価を行う。

### (4) 契約候補者の選定方法

ア 失格者を除いた者のうち、(3)で最高点と評価した選定委員が最も多い者を契約候補者として選定する。

イ アに該当する企画提案者が複数あった場合は、各選定委員による評価の合計点の平均点が最も高い者を契約候補者とする。なお、平均点も同一の場合は、選定委員会で審議の上、契約候補者を選定する。

ウ 参加者が1者の場合、各選定委員による評価の合計点の平均点が60点以上の場合、契約候補者として選定する。

エ 企画提案者が多数の場合には、事前審査によりプレゼンテーション参加者を選定する場合が

ある。この場合、事前審査は農村振興課で行う。

オ ア～エに関わらず、各選定委員による評価の合計点の平均点が60点未満の場合は、当該企画提案者を契約候補者として選定しない。企画提案者が1者の場合も同様とする。

カ 選定委員会は非公開とし、審査内容に係る質問や異議は一切受け付けない。

#### (5) その他

次に掲げる事項に該当する者は、失格とする。

ア 提出書類に虚偽の内容を記載した場合

イ 本実施要領に示した企画提案書等の作成及び提出に関する条件に違反した場合

ウ 見積書の金額が2(4)の委託料上限額を超える場合

エ 評価の公平性に影響を与える行為があった場合

オ 評価に係るプロポーザル選定委員に対して、直接、間接を問わず故意に接触を行った場合

カ その他選定結果に影響を及ぼすおそれのある不正行為を行った場合

### 6 選定結果の通知・公表

契約候補者選定後、参加者全員に選定又は非選定の結果を通知する。また、栃木県ホームページ（入札・公売）に公表する。

### 7 契約手続

(1) 契約候補者に選定された者と栃木県との間で、委託内容、経費等について再度調整を行い、協議が調った場合、委託契約を締結する。

(2) 契約代金の支払いについては、原則、精算払いとする。

(3) 選定された候補者が、特別な事情等により契約を締結しない場合は、その理由を記載した辞退届を提出させること。なお、この場合、次順位の者を候補者とする。

### 8 その他

事業の成果は全て栃木県に帰属する。

(別表) 評価基準

- 1 評価項目及び各項目の配点は次のとおりとし、各選定委員（5名）が採点する。
- 2 企画提案者の中で最高点と評価した選定委員が最も多かった者を契約候補者とする。  
 なお、該当する企画提案者が複数あった場合は、各選定委員による評価の合計点の平均点が最も高い者を契約候補者とする。
- 3 2の場合において、平均点の最も高い提案者が複数あった場合は、選定委員会で審議の上、契約候補者を特定する。
- 4 各選定委員による評価の合計点の平均点が60点未満の場合は、当該企画提案者を契約候補者として選定しない。企画提案者が1者の場合も同様とする。

審査項目	評価内容	配点	加重割合
1 業務内容の理解度	業務委託の目的、内容を十分に理解しているか。	10	× 1
2 提案内容の優良性	調査対象地域及び対象者の選定、調査手法、調査項目、調査結果の分析手法について、具体性、妥当性、実現可能性が確保されているか。	10	× 2
	ビジョンの方向性や内容、策定手法について、具体性、妥当性、実現可能性が確保されているか。	10	× 2
3 提案内容の独創性	調査・分析について、独自の提案がされているか。	10	× 1
	ビジョン策定について、独自の提案がされているか。	10	× 1
4 業務実施の確実性	過去に類似の業務で良好な実績を上げているか、同等の成果が期待できるか。	10	× 1
5 業務遂行の安定性	必要な人員が確保されており、委託業務が安定的に遂行できる実施体制となっているか。	10	× 1
6 必要経費	提案内容に見合った適切な経費の積算になっているか。	10	× 1
合 計		100	

[評価基準]

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
優 (+)	優 (-)	良 (+)	良 (-)	可 (+)	可 (-)	やや不良 (+)	やや不良 (-)	不良 (+)	不良 (-)

※審査項目毎に整数で絶対評価を行う。

※各審査項目の得点は、評価基準の数に加重割合を乗じた数とする。